

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	スポーツツーリズム推進事業	H24～H30	本市陸上競技場は、スポーツキャンプ等が数多く開催されており、観光客等の誘客促進及び青少年の健全育成を図るため、天然芝の良質な状態を保持・管理する人材を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・芝生管理人の雇用(1人) ・芝生管理に精通した人材の育成 ・良質な状態での芝生の維持管理 	サッカーキャンプ等の受け入れ (3チーム)	芝生管理人を継続雇用しながら、芝生を良質な状態で維持管理していき、引き続きプロサッカーチームのキャンプを受け入れていく。プロサッカーチームのキャンプ等の受入を継続していくことにより、観光の閑散期である冬場に市内の宿泊施設などの利用増が見込まれる。		
	観光交流サイン整備事業	H25～H29	来訪者にとってわかりやすい誘導案内や周辺案内、解説板、名称板等のサインを整備することにより、スムーズな案内誘導を進めるとともに都市景観の向上や、歴史文化遺産の顕在化と魅力の充実、市民と来訪者との交流促進、観光の振興を図る。	集落域文化遺産サイン設置工事：7集落	集落域文化遺産サイン設置工事完了：7集落 ・来訪者の文化遺産への理解や到達の利便性の向上 ・地域住民の地元にある歴史文化遺産の再認識、活用 ・市民と来訪者の歴史文化遺産を通しての交流促進	(今後の展開) 集落文化遺産サイン整備 H29年度：整備計画に基づき、集落単位でサイン整備を行う。 サイン整備により来訪者の利便性を高めるとともに、同時に整備を通じて住民自らが地元の歴史や文化遺産を再発見し、次世代へ伝えていく。		
	尚巴志活用マスタープラン実施事業	H26～H30	平成25年度で策定された「尚巴志活用マスタープラン」を実施する事業である。尚巴志の普及、尚巴志スピリットの育成、エコミュージアムの基礎を築き、文化資源を活用した観光振興、地域振興を図っていく。	1. 尚巴志の普及・啓発・情報発信 ・「紙芝居学校アウトリーチ」市内小学校9校(各1回) ・「文化講演会」：1回 2. 地域興しの人材育成 ・「尚巴志の語り部育成事業」ワークショップ7回 3. エコミュージアムの創造 ・「文化遺産巡りコンサート」市内文化遺産所在地区4箇所(各1回) ・「地域孫会議事業」市内文化遺産所在地区公民館4箇所(各1回) ・「琉歌募集事業」 ・「大城城跡出土資料購入」	1. 尚巴志の普及・啓発・情報発信 ・「紙芝居学校アウトリーチ」市内小学校9校4年生：460名(久高小は全児童) ・「文化講演会」 ・目標客数：100名 2. 地域興しの人材育成 ・「尚巴志の語り部育成事業」 ・参加者10名 3. エコミュージアムの創造 ・「文化遺産巡りコンサート」 ・合計観客動員数：200名 ・「地域孫会議事業」 ・参加者30名 ・「琉歌募集事業」 ・応募者数：140首	1. 尚巴志の普及・啓発・情報発信 H29～30年度：尚巴志グッズの開発、尚巴志副読本の発刊、尚巴志まつりの実施 2. 地域興しの人材育成 H29～30年度：地域デザインと人材配置、実践事業 3. エコミュージアムの創造 H29～30年度：デジタルミュージアム作成、マーケティング H30年度事業完了時、「尚巴志」への認知度・愛着が高まり共通の知識を獲得、市民それぞれが情報を発信していくことで南城市の知名度がアップ、人気が高まり観光客が増える見込み。		

H28活動目標(指標)：平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標)：平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			観光振興将来拠点整備事業	H25 ～ H29	本県南部地域及び本市の体験交流・滞在型観光の促進等、新たな観光振興に向け、空港や沖縄自動車道、那覇市からの交通アクセスが大きく改善される南部東道路IC周辺地に於いて、公共駐車場や観光情報施設(宿泊施設・レンタカー営業所等)の誘致、各種イベント等との連携を強化し、観光交流拠点の形成を行う。	・事業用地5,655㎡の用地購入 ・第1期造成工事	・用地交渉業務の完了(最終年度) ・第1期造成工事の完了	平成29年度以降も引き続き造成工事を実施。 事業完了後は、本市が掲げる「見る観光」から「感じる観光」への転換を目指し、事業完了年度に於ける本市主要観光施設利用者数を基本に、対前年度1%増を目指す。	
			地域Wifiネットワーク整備事業	H27 ～ H29	市内の観光スポットを中心に無線ネットワーク機器(アクセスポイント)を設置することで地域無線インフラの構築を行う。構築後は観光ポータルサイトの連動により観光情報の発信を強化し、外国人をはじめとした観光客の満足度及び周遊性の向上を図る。	無線アクセスポイントの整備(6カ所)	・無線アクセスポイントの整備完了 ・観光ポータルサイトを利用した観光情報のプッシュ型配信による施設案内の充実	構築後は観光ポータルサイトとの連動により観光情報の発信を行い、斎場御嶽のみではなく、市内の観光スポット等の紹介を行うことで、外国人をはじめとした観光客の満足度及び周遊性の向上を図る。	
			南城市産商品販売力及び観光PR強化事業	H27 ～ H29	本市への入域観光客数の増加や市産商品の販路拡大を図るため、県外・国外で開催される物産展への出展や、プロスポーツキャンプ及び公式戦の誘致等を行い、観光資源や市産商品の情報発信・広報活動に取り組む。	・関東や海外で開催される物産展への出展(各1回以上) ・東京都内で南城市制施行10周年記念イベントの開催(年1回) ・南城市ノベルティグッズの制作(年2種類以上) ・プロスポーツキャンプや公式戦の誘致活動(年1回以上)	・都市圏での物産展参加による南城市や市産商品の認知度の向上。 ・10周年記念イベントを東京都内で開催することにより、南城市の観光情報を発信でき、観光客誘客の促進。 ・オリジナルノベルティグッズを制作し、配布することにより南城市のイメージを広く・長く発信。 ・プロスポーツのキャンプや公式戦誘致によるスポーツツーリズムの推進。	・観光客誘客を図るため、プロスポーツキャンプ等誘致活動を継続的に開催する。 ・29年度までにプロスポーツキャンプ等の受入実績の増加を目指す。(1件(基準年度:26年度) 6件)	
			観光交流・防災機能拠点整備事業(ムラヤー構想)	H25 ～ H28	住民と観光客との交流拠点や防災機能拠点施設として整備し、地域の伝統芸能継承、青年会活動などの多様な活動を推進し、観光振興を図る。	南城市知念地区におけるムラヤー新築工事	H29年度の供用開始に向けた事業の着実な実施(工事の完了)	体験交流施設整備により、地域の観光資源を活用した観光客の誘客に取り組み地域の活性化を図る。(目標利用者:500名)	
			東御廻り等・体験交流受入整備強化事業	H27 ～ H30	斎場御嶽を拠点に年間約40万人の観光客が訪れることから、集客エリアにおける休憩施設の基本設計及び久高島ロマンスロードの東屋機能強化を図り、受入体制を整え、更なる観光振興を図る。	・斎場御嶽休憩施設等整備(基本設計) ・久高島ロマンスロード東屋機能強化(設計・工事)	歩行者の安全・猛暑対策の充実 ・斎場御嶽周辺休憩施設等基本設計の策定 ・久高島ロマンスロード東屋機能強化(設計委託業務・工事)の完了	遊歩道と駐車場の整備により、車両と歩行者の安全が確保され、斎場御嶽を拠点とする市内周遊型観光の新たな体験交流事業の考案と地域活性化の取組に繋げる。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			プロ・サッカーキャンプ等受入施設整備事業	H27 ~ H29	プロサッカーキャンプ受入及び公式戦受入の対応ができる陸上競技場・体育館施設の機能を強化整備し、市民の健康増進に対する意識の向上を推進していく。	実施場所：南城市陸上競技場 ・実施設計 ・測量業務 ・管理道路設計業務 (屋上観客席868席、会議室(50人)、ロッカールーム(34人)×2部屋、トレーニングルーム、芝機械管理室、地下貯水タンク)	南城市陸上競技場に関する実施設計・測量業務・管理道路設計業務の完了	施設整備後は、プロサッカーキャンプの受入体制を充実させながら、各種スポーツ合宿(大学等)の誘致にも取り組み、本市の滞在型観光を推進し地域活性化を図ると共に、機能強化により市民の健康増進への意識向上に繋げる。	
			観光交流施設機能強化事業	H27 ~ H29	市内に点在する観光地(城跡等)を訪れる観光客等の憩いの場として、新たな拠点地づくりを行い、グスクロード公園・知念岬公園(既存施設内)に遊具等を整備し、機能強化することで観光客等利用者の利便性の向上を図る。	グスクロード公園の施設整備 ・遊具の設置 ・休憩施設(ベンチ、バーゴラ等) ・修景施設(芝生、排水路等)	施設整備することにより公園機能が強化され、多面的に施設を活用することができるようになり、観光客・利用者の利便性の向上を図ることができる。	平成29年度は整備計画に基づき、知念岬公園の施設整備を行う。	
			南城市まつり実行委員会支援事業	H28	市内の優れた伝統芸能を一堂に会し新たな観光資源として、広く県内外へアピールし、観光誘客に繋げていく。さらに、琉球王国時代の最高神女である「聞得大君」の即位儀礼「御新下り(おあおり)」を再現することで、世界遺産「斎場御嶽(せーふうたき)」の付加価値を高め、更なる観光振興を図っていく。	「南城市まつり」への開催支援	南城市まつり来場者数 H28年 40,000人	伝統芸能の活用・周知及び保存継承・技術の向上を図り、観光資源としての定着・普及に努める。また独自の文化遺産を活かした観光振興を目指す。	
			南城市観光振興計画策定事業	H28 ~ H29	平成30年度から10年間の観光施策を検討するにあたり、これまでの施策の検証を行なうとともに、各種アンケート調査等の基礎調査を行い、中核地を拠点とした南城市らしい観光振興計画を策定する。	アンケート、事業所ヒアリング、入込客数の調査・分析、課題整理	本市の現状・課題を整理し平成29年度計画策定の資料とする。	平成29年度：観光振興計画策定された計画に沿って各施策を実施し、本市のさらなる観光振興を目指す。	
			観光施設危機管理対策事業	H28 ~ H31	観光産業は、本市経済に大きく貢献する極めて重要な産業となっている。観光振興を図る上で、観光地の危機管理は喫緊に対応する必要がある。本市を訪れた観光客が災害時、安全に避難することが出来るよう計画を策定し、安心・安全な観光地形成に取り組んでいく。	観光危機管理計画の策定	計画策定により観光産業に負の影響を与える観光危機の軽減を図り、観光客に安心・安全な観光を提供する。	・事業計画 平成29年度 AED30ヶ所 平成30年度 誘導サイン5ヶ所 平成31年度 誘導サイン5ヶ所	

H28活動目標(指標)：平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標)：平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			海外交流推進事業	H28 ～ H31	アジアからインターンシップを受け入れ、海外からの視点で南城市の魅力や課題を探り、外国人観光客に関するニーズやニーズを調査すると共に、アジアの旅行社や関係機関へ直接向いて南城市をPRし修学旅行などのエデュケーションal ツーリズムに取り組み、観光振興に繋げていく。	・香港理工大学からのインターンシップ受入実施 ・香港における教育機関や旅行社へのPR活動	・インターンシップの成果として学生のプレゼンを実施 ・PR活動実施の完了	香港との関係が構築された後はアジアにおける他国への展開も予定している。	
			南城型エコミュージアム実施計画策定事業	H28 ～ H31	観光コア施設を拠点として南城市の魅力を一元発信するため、特徴ある地域をサテライトとして位置づけることの決定やこれらをネットワーク化した全体的なマネジメントなどを明記した総論を策定する。	検討委員会、市民ワークショップ、ステークホルダーで検討し南城型エコミュージアム実施計画(総論)を策定する	南城型エコミュージアム実施計画書(総論)の発行(100部)	学生と地域のコラボによるコンペティションを行い、地域ごとの計画を各論として策定していく。	
			芸術による地域活性化推進事業	H28 ～ H29	地域のムラヤーを活用し、地域と沖縄県立芸術大学の学生が協働で、地域資源を生かした沖縄ならではの美術工芸体験メニューを構築し、観光振興に繋げていく。	ワークショップ及び展覧会を実施する	・ワークショップの参加者 100名 ・展覧会の来場者 100名	体験メニューとしての位置づけを目指す	
2			平和発信事業	H24 ～ H30	戦後70年が経過し、沖縄戦の記憶が薄れている中、改めて市民一人ひとりが平和や命の大切さを考える機会として、南城市独自で制定した平和の日(8月10日)を中心にイベント等を開催する。	・8月10日市民平和の日 イベントの開催 ・アプチラガマ入壕体験 ・基本プラン作成	・平和の日を中心にイベントの開催 1回 ・アプチラガマ入壕体験 1回 ・基本プラン作成完了	地域間・異世代間の交流を図りながら、平和な社会の実現を図るため、市内外へを発信するイベントを継続的に開催する。 市民一人ひとりが平和について考え、語り合い、行動できるよう平和への意識を高める。	
			平和学習受入体制強化事業	H25 ～ H31	平和学習の一環として第二次世界大戦の追体験を行っている糸数アプチラガマは、自然環境による崩落や周辺環境の変化による壕への影響も懸念され、見学者が安全・安心して見学・体験できるように危険度の調査を行う。	測量、ボーリング調査、現地調査等を行い、アプチラガマの危険度調査を行う。	調査結果に基づきアプチラガマの危険箇所を把握する。	危険箇所の年次的な補修	
3			蔬菜花卉園芸施設整備事業	H24 ～ H28	強風等自然災害による被害を軽減し、農作物の安定生産が図れる施設栽培を奨励するため、既存施設の強化及び防風壁導入を支援する。	既存の農業用施設強化及び防風壁設置を支援	既存の農業用施設等の整備(5ヶ所)	事業により整備した施設の適正管理に関する助言及び実証による効果の検証を行う。	
			耐候性野菜栽培施設整備事業	H27 ～ H29	定時・定量・定品質の農作物出荷を行うため、気象条件に生産量を左右されにくい耐候性ハウスを整備し、農家の経営安定及び産地の形成を図る。	耐候性ハウスの整備を支援	耐候性ハウスの整備(5,000㎡ 約20棟)	出荷量安定及び産地形成のため、耐候性ハウスを継続して整備する。 H29 5000㎡	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			優良繁殖牛リース支援事業	H26 ~ H33	和牛繁殖基盤の改良強化を図るため、農家に対して優良繁殖雌牛を貸し付けるものに対し支援を行う。	優良母牛導入支援	・導入頭数50頭 ・今年度導入率12.5%(全導入目標頭数:400頭) ・母牛の若齢化 ・基本登録時審査成績向上	H29年度目標 ・母牛の若齢化 ・基本登録時審査成績向上 H30年度目標: ・母牛の分娩間隔短縮 ・出荷子牛のDG向上	
			優良乳用牛リース支援事業	H27 ~ H31	乳用牛の改良強化を図るため、農家に対して優良乳用牛を貸し付けるものに対し支援を行う。	優良乳用牛導入支援	・導入頭数50頭 ・今年度導入率20%(全導入目標頭数:250頭)	H29年度目標: ・優良乳用牛への更新 ・生産乳量の増加 ・乳質の向上	
			農業振興アクションプラン策定事業	H28	農業が市域経済の核となる産業として発展し、かつ、農業者が豊かに暮らせる産業として発展していくため、現状と課題の把握及び地域の特性を活かした農業生産・加工・物流を視野に入れた新たな農業展開のビジョンを画き、その実現へ向けたプランを策定する。	・農業生産者への意向調査(アンケート)実施(1回) ・地域の中心的農業生産者・団体へのヒアリング調査の実施(3回) ・農業生産者・団体及び地域住民との意見交換会実施(1回) ・検討委員会の実施(4回)	農業振興アクションプランの策定(現状の把握・課題の整理、施策の決定など)	当プランの策定により事業の効率的かつ健全な遂行が可能となり、当市の今後の農業振興及び農漁村の発展につながる。また、沖縄独自の地域性及び農業の持つ力(魅力)を活かした新たな事業展開が見込まれことや台風等の自然災害へ対する対策法の確率によって安定生産が図られ、農業経営の向上が期待できる。	
4			低炭素なまちづくり推進事業	H28 ~ H33	低炭素社会を構築するため、市内の防犯灯及び公共施設等の照明器具を省エネ型のLED照明に切り替えることにより温室効果ガスの排出削減を図る。	調査業務の実施(防犯灯・街路灯及び公共施設の設置場所、設置状況及びCO2の排出量の把握)	市内の防犯灯・街路灯の設置状況の把握 自治会が管理する防犯灯及び市の管理する防犯灯・街路灯及び公共施設等のCO2排出量の把握	防犯灯・街路灯及び公共施設等の照明器具から排出される温室効果ガス(CO2)の排出量を把握し、環境負荷の少ないLED照明器具に切り替えていくことで温室効果ガスの排出量削減を図る。	
5			学習支援員配置事業	H25 ~ H33	通常の授業についていけない児童・生徒への学習支援等を目的に、学級担任等の補助者として学習支援員を配置し、対象児童・生徒の習熟の程度に応じた指導や、一人ひとりの学習の定着状況に基づいたきめ細かな指導等、個々の実態に応じた学習支援を行う。	・市立8小学校へ学習支援員8名配置(支援児童数330名程度:支援員1名当り週35時間授業支援を行う。1授業当たり3名程度の児童を支援する。) ・市立4中学校へ学習支援員4名配置(支援生徒数135名程度:支援員1名当り週35時間授業支援を行う。1授業当たり3名程度の生徒を支援する。)	・学力到達度調査において無回答率の縮小 小学校(5年)算数前年度比較0.5ポイント改善 H26年の無回答率 3.6ポイント H26県平均の無回答率 4.2ポイント 中学校(2年)数学前年度比較0.5ポイント改善 H26年の無回答率 12.7ポイント H26県平均の無回答率 14.9ポイント	H33年度まで事業を継続し、当該調査の無回答率を0に近づける。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			特別支援教育・障害児ヘルパー配置事業	H25 ～ H33	学校教育法において、障害のある児童生徒等の教育の充実を図るため、小・中学校等に在籍する教育上特別の支援を必要とする児童生徒等に対し、適切な教育(特別支援教育)を行うことが明確に位置付けられ、それにより、障害のある児童生徒等の通常学級への受入れ機会が増加している。そのため、幼・小・中学校へ特別支援教育支援員や障害児ヘルパーを配置し、担任教師と連携し、適切な特別支援教育を行う。	・市内4幼稚園へ障害児ヘルパー(保育)9名(対象園児17名) ・市内8小学校へ障害児ヘルパー32名配置(対象児童88名) ・市内4中学校へ特別支援教育支援員1名、障害児ヘルパー5名配置(対象生徒14名)	・学習や学校生活面においてのサポート体制を強化し安心して学べる学習環境の構築 ・幼児・児童・生徒個々の特別支援教育支援員・障がい児ヘルパー活用報告書の作成(年2回)	平成28年度～33年度 ・特別支援教育支援員・障害児ヘルパー配置 ・障害のある幼児・児童・生徒の自立や社会参加を促し、「生きる力」を育成する	
			小・中学校電子黒板等整備事業	H28 ～ H31	児童・生徒の学力向上の取り組みとして、ICTを活用し既存の学習活動と融合した効果的な授業展開を実施することを目的に、各小・中学校の普通教室や特別教室へ電子黒板等を整備する。	・玉城中学校電子黒板整備(普通教室12台・特別教室2台)、校内LAN整備 ・久高小中学校電子黒板整備(普通教室6台・特別教室2台)、校内LAN整備 ・知念中学校電子黒板整備(普通教室5台・特別教室2台)、校内LAN整備 ・佐敷中学校電子黒板整備(普通教室11台・特別教室2台)、校内LAN整備 ・大里中学校電子黒板整備(普通教室15台・特別教室2台) 電子黒板整備台数 合計59台、校内LAN整備 合計4校	・学力到達度調査において無回答率の縮小 小学校(5年)算数前年度比較0.5ポイント改善 H26年の無回答率 3.6ポイント H26県平均の無回答率 4.2ポイント 中学校(2年)数学前年度比較0.5ポイント改善 H26年の無回答率 12.7ポイント H26県平均の無回答率 14.9ポイント	H31年度まで事業を継続し、市内全小中学校へ当機器等を整備することで、ICT教育へ対応した環境整備を図り、学力向上に寄与する。	
6			なんじょう歴史文化保存継承事業	H24 ～ H33	本市は神の島「久高島」や世界遺産「斎場御嶽」、国指定文化財「グスク等」の多くの歴史遺産、琉球王朝時代から引き継がれた精神文化が今も数多く残る地域である。 これら貴重な文化遺産を後世に引き継ぐことを目的になんじょう歴史文化保存継承事業を実施する。	「御嶽・グスク編」8回(会議、調査) 「資料集戦争」5回(会議、調査、情報収集) 「民俗」5回(検討会議)、12回(会議、調査、情報収集)	・「グスク(仮称)」刊行 ・「御嶽(仮称)」分類の確定 ・「資料集戦争」執筆要綱の完成 ・「民俗」調査体制の確立	(今後の展開) H29年度:「御嶽(仮称)」刊行 H29年度:「資料集戦争」原稿作成 H30年度:「資料集戦争」刊行 H29～H33年度:「民俗」及び「女性史」調査、情報収集、整理	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
		文化センター機能強化事業	H25 ~ H29	本市における地域伝統文化及び市内イベントの拠点として文化芸術創造の発信を行っている文化センターの機能強化を図るため、屋外ステージの常設屋根設置工事に向けた設計業務を行う。	屋外ステージ常設屋根設置工事設計業務の実施	屋外ステージ常設屋根設置工事設計業務完了	(今後の展開) H29年度:屋根設置工事 ・文化芸術創造発信の拠点として活用 ・県内唯一の音楽専用ホールとしての活用を促進 ・文化芸術のさらなる発展への寄与	
		文化のまちづくり実行委員会支援事業	H24 ~ H33	地域伝統文化の継承及び観光振興を図るため、南城市文化センター・シュガーホールを拠点に、音楽や演劇事業等の各種公演を実施する。	第22回おきでんシュガーホール新人演奏会(1回) 知念利津子リサイタル(1回) シュガーホール発!!地域めぐり出前ステージ(4回)	第22回おきでんシュガーホール新人演奏会 380名 知念利津子リサイタル 380名 シュガーホール発!!地域めぐり出前ステージ 800名	(今後の展開方針) 引き続きシュガーホールを拠点とした、クラシック音楽のみではない多様な文化芸術創造の場として活用していく。	
7		健康づくり支援調査検証事業	H25 ~ H28	市民の健康づくりを支援するため、健康教室等の開催及び児童生徒生活習慣病予防健診等を実施するとともに、その効果等について調査検証する。	・講演会、健康体操等の実施 10回 ・中学生を対象とした健康調査及び保健指導の実施	・講演会、健康体操等の実施後に、アンケート調査等を行い、事業効果を評価検証し、市民の健康増進意識の向上を図る。 ・中学生(約450名)を対象とした血液検査を実施・検証し、その結果返しの中で、親子へ保健指導を行い、生活習慣病予防意識の向上を図る。	(今後の展開方針) 事業完了後も引き続き市民の健康づくりを支援する。健康づくりに無関心な層や未受診者へ、行政・地域・学校等からのアプローチで市民の健康への意識を高める。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。